

益社団法人愛知県医師会 第24回(定例)理事会議事録

開催日時：平成27年11月12日(木) 午後2時30分～午後4時40分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／市川 朝 洋 伊藤 健 一 城 義 政 加藤 雅 通 大輪 芳 裕

西山 朗 榎尾 富 二 樋口 俊 寛 伊藤 富 士 子 瀨 瀨 雅 明

細川 秀 一 森 孝 生 城 卓 志 野田 正 治

監事／岩瀬 敬 紀 可世木 成 明 榊原 一 基

代議員会議長／水野 和 夫

代議員会副議長／川上 雅 正 杉田 洋 一

欠席者

理事／吉田 貴

議事録作成者 加藤 結 花

※榎尾理事、細川理事遅刻の為、承認事項については、22名(うち理事16名)にて審議した。

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者24名(うち理事18名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

- ① 藤田保健衛生大学(肝胆膵内科教授 吉岡健太郎)主催の平成27年度肝がん撲滅運動市民公開講座「飲み薬で治そうB型肝炎・C型肝炎」[H28.1/17(日)]の後援について市川理事より説明され、承認された。

(2) 愛知県在宅医療推進協議会(仮称)委員の推薦について

市川理事より説明され、本会の野田理事の推薦が承認された。

(3) 愛知県がん登録情報利用等審議会委員の推薦について

市川理事より説明され、本会の森理事の推薦が承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下のNo.1~2の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	H28. 1/18(月)	病院の認知症対応力向上事業 第5回認知症対応病院実地指導企画支援会議	501 会議室	野田理事 樋口理事
2	H28. 2/23(火)	平成27年度 第3回 小児救急連携体制協議会	7階研修室	城(義)理事 細川理事

3. 愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)委員変更について

加藤理事より説明され、病院協会推薦の国家公務員共済組合連合会 名城病院元院長 早川哲夫先生の退任に伴い、同病院院長 伊藤隆之先生の変更が承認された。

4. 平成27年度 DebRA Japan 表皮水疱症友の会 名古屋交流会〔12/26(土)〕の講師派遣について

加藤理事より説明され、職員1名の派遣が承認された。

5. 平成27年度看護職員確保対策事業協定経費配分表(案)について

大輪理事より説明され、承認された。

6. 日本医師会看護学校補助金配分(案)について

大輪理事より説明され、承認された。

7. 母体保護法指定医師の指定について

伊藤(富)理事より説明され、転勤3名、施設移転1名、再申請1名、新規指定1名、更新延期1名の計7名の指定が承認された。

—協議事項—

8. 平成27年度「医療政策シンポジウム」参加者派遣について

柵木会長より、日本医師会から参加依頼があり、役員より出席希望があれば申

し出ていただきたいと説明され、承認された。

9. 慶祝について

市川理事より説明され、叙勲を受けられた3名、瑞宝小綬章：長嶋正實先生〔名古屋市西区〕、旭日双光章：伊藤典康先生〔豊川市〕、瑞宝双光章：山本 肇先生〔岡崎市〕の慶祝を、平成28年1月21日(木)に行われる県下医師会長等協議会で行うことが承認された。

10. 「十四大都市医師会連絡協議会」〔H28.10/22(土)・10/23(日)〕の運営費助成について

市川理事より説明され、平成28年10月22日(土)、23日(日)、名古屋市での開催を予定している標記協議会への運営助成費として、200万円を助成することが承認された。

11. 入会金の徴収猶予申請について

西山理事より説明され、名古屋市医師会より、申請があった入会費減免申請が承認された。

12. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 中部医師会連合第5回常任委員会〔11/4(水)〕について

(中部医師会連合主催：名古屋マリオットアソシアホテル)

榊木会長より、協議事項について報告された。主にORCAプロジェクトについて、富山県医師会長より、既に機関決定している事項であるが、公益社団法人である日医がORCAを株式会社として設立した経緯等、納得できない事柄が多く、都道府県医師会長協議会の議場で日医の見解を表明していただくこととなったと説明された。

2. 第6回救急災害医療対策委員会〔10/29(木)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

城(義)理事より、台湾粉塵爆発事故対応への感謝状が、中国医師会から贈呈されたと報告された。

また、「記録的大雨による鬼怒川の堤防決壊での活動」について、茨城県医師会理事の海老原先生とDPAT事務局次長 渡路子先生の活動報告、有賀先生より、「愛・地球博」開催10周年記念感謝のつどいでの講演について披露されたと説明された。

3. 平成27年度第4回日本医師会医療秘書認定試験委員会〔10/30(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

加藤理事より、日本医師会医療秘書認定試験委員会が開催され、新要項の試験問題を作成されたと報告された。

4. 第6回医業税制検討委員会〔10/30(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

大輪理事より、医療機関等の消費税問題に関する検討会では、診療報酬における消費税の見える化を試みたが不可能であるとの結論に至り、財務省、厚労省の了解を得、逆に医療団体より厚労省に特に5%までの消費税に対しての診療報酬への補てんの見える化について確認したが、補てん不足はなく、見える化も不可との回答を得たと報告された。また、今後の消費税問題への対応と平成28年度税制大綱への要望事項について協議したと説明された。

5. 第6回母体保護法等に関する検討委員会〔10/28(水)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

可世木理事より、人工妊娠中絶を行う医師の指定状況については、過去3年間大きな変化は見られないと説明された。新規指定医師については、東北、山陰地方で減少しており、将来的には問題であると説明された。また、富山県に於ける高

齡医師の指定取消、愛知県の指定取消医師の再指定について報告され、青森県医師会に於ける妊娠初期からのサポート推進事業などの取り組みについて、子ども虐待による死亡事例等の検証結果について報告された。その他、平成 27 年度家族計画・母体保護法指導者講習会が、日本医師会で 11 月 28 日(土)に開催されると説明された。

【本会関係会議について】

6. 愛知県医師会無線システム災害想定訓練 [11/4(水)] について (岡崎市医師会)

城(義)理事より、伊勢湾を震源とするマグニチュード 7.0 の地震が発生し、県医師会にも被害が及んだとの想定で、災害対策本部を岡崎市医師会に移し訓練を実施した。医師会 12 機関、災害拠点病院 8 機関、基幹病院 9 機関の合計 29 機関が参加し、無線交信、広域災害システム (EMIS) への入力訓練、メール・FAX での情報収集も併せて行い概ね滞りなく終了したが、一部の機関において EMIS の未入力・FAX の未送信があったと報告された。

7. 愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)委員会 [10/27(火)] について (801・802 会議室)

加藤理事より、事例報告・検討(平成 27 年 9 月分)新規事例 92 事例(No.15-481～15-572)継続相談 29 事例/43 回 総計 142 回(歯科 7 事例)について説明された。問題となった事例は、医療機関の不手際により流産したとのクレームで、医療的には何の問題もないが、患者が反社会的勢力に属している方であったため、最終的には訴訟となる可能性がある案件があったと報告された。

また、非常勤医師による手術、医師の対応・説明不足について報告され、診断書の記載内容、救急搬送について協議を行ったと報告され、11 月 28 日(土)、本会 9 階大講堂で講演会を開催されると説明された。

8. 医療安全対策委員会 [10/20(火)] について (803・804 会議室)

細川理事より、県下 21 の団体で、医療事故調査等支援団体連絡協議会が開催されたと報告された。また、「医療事故調査制度」をテーマとし、平成 28 年 2 月 13 日(土)に開催する医療安全対策委員会勉強会への参加を募った。平成 27 年 10 月分委員会提出案件 34 件(新規 28 件、解決 6 件)について検討し、特に問題となる事例はなかったと説明された。

9. 病院の認知症対応力向上事業 第 4 回認知症対応病院実地指導企画支援会議 [11/2(月)] について (5 階医師連盟会議室)

野田理事より、医療従事者の認知症対応力向上研修については、9/19(土)、

10/10(土)のアンケート結果の確認を行い、次年度の進行方法等について協議し、認知症対応病院実地指導については、visit1の実施日を周知したと説明された。また、来年度事業について、高齢福祉課より現段階では、今年度と同様の規模、内容で予定しているとの報告があったが、予算規模の縮小により、テキスト等の印刷代不足の状況となっており、高齢者福祉課へ予算の見直しを要望したと説明された。

10. 講演会・研修会等について

柵木会長より、下記のNo. 1～3の本会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。

1については細川理事より、出席者数については横ばい状況であり、出席者も毎回ほぼ同じであると説明された。

*は共催・協賛等

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	*10/31(土)	第24回愛知県医師会検視医研修会	53名	細川理事 森理事
2	11/4(水)	平成27年度日本医師会認定健康スポーツ医学再研修会	66名	森理事 城(義)理事
3	11/5(木)	産業医研修会	110名	西山理事 市川理事

【行政、その他関係団体等会議について】

11. 愛知県医療審議会〔10/28(水)〕について

(愛知県主催：愛知県社会福祉会館)

柵木会長より、名古屋市と尾張中部医療圏を一つにまとめることが承認されたと説明された。また、東三河北部、東三河南部については、一つにまとめるという意見もあったが、北部の過疎化に拍車がかかる可能性もあり、当面は従来どおりとし、今後の検討課題となったと報告された。

地域医療介護総合確保基金については、当初の内示額が13億円であったが、今年度と同様額の32億円となったと説明された。

12. 第30回日本医学会総会2019中部第1回組織委員会〔10/29(木)〕について

(第30回日本医学会総会2019中部主催：鶴友会館)

柵木会長より、メンバー紹介がなされ、中部7県の他に長野県も含め、8県で開催する運びとなり、1.医学・医療の深化と広がり、2.社会とともに生きる医療、3.医療人の教育と生き方、4.グローバル化する日本の医療、の4本の柱を立て、期間中25,000人の参加者を見込んでいると説明された。

13. 平成27年度県営名古屋空港「消火救難総合訓練」〔11/5(木)〕について

(愛知県名古屋飛行場緊急計画連絡協議会主催：県営名古屋空港)

城(義)理事より、今回は、天気にも恵まれスムーズに訓練が進み、模擬患者も前回の倍の 67 名に増員された。メディカルコマンダーには、小牧市民病院救命救急センター部長 井上先生が担当され、検視・検案活動訓練では、今年度から県警も参加し実施されたと報告された。各テント間と救急指揮所とは伝令にて行っていたが、合同対策本部への情報伝達が上手くいかず、トランシーバー等の通信方法を導入する必要があると説明された。

1 4. 患者難病のある人の就職×職場定着支援(公開フォーラム) [11/3(火・祝)] について

(厚生労働省 難病患者への支援体制に関する研究班主催：東京交通会館)

加藤理事より、医師、就職支援機関、MSW 等、約 50 名が参加され、労働・障害者雇用分野、福祉系就労支援、産業保健分野、医療従事者向け研修、各分野からの調査研究の報告がなされたと説明された。難病患者就職サポーター、ハローワーク、難病相談支援センターから取り組みについて発表があり、会場からは難病患者が雇用率に含まれないのか、病名の開示・非開示について等、活発な意見交換が行われたと説明された。

1 5. 愛知県介護サービス第三者評価推進会議 [10/28(水)] について

(愛知県主催：愛知県三の丸庁舎)

樋口理事より、介護サービス情報公表制度の報告及び調査結果について、平成 26 年度結果報告、平成 27 年度情報公表発表、平成 26 年度指定機関の調査結果、平成 27 年度調査実施予定数に関する報告があり、その次に介護事業所人材育成認証評価事業に関する説明があったと報告された。

柵木会長より、事業者訪問にかかる調査費用が高いとの問題について質問され、樋口理事より、現在はそういった声は上がっていないと発言された。

1 6. 平成 27 年度愛知県食育推進会議 [11/5(木)] について

(愛知県主催：愛知県三の丸庁舎)

伊藤(富)理事より、現行の「あいち食育いきいきプラン 2015」が本年度で終了することに伴い、次期基本計画案が示されたと報告された。この案について検討がなされ、細部にわたる質問、要望が出されたが、大筋についての反対はなかったと報告された。また、食に関わる現状について、愛知県は野菜摂取量が男女とも全国で最下位であるが、取り組みについては給食で摂取したらどうかという案が出たと説明された。伊藤(健)理事より、野菜摂取量の根拠を質問され、伊藤副会長より、意識調査によるものであると説明された。

1 7. 医療機関に退蔵されている水銀血圧計等の回収に関するセミナー [11/5(木)] について

(環境省主催：愛鉄連厚生年金基金会館)

瀨瀬理事より、環境省より、2020年の水俣条約を踏まえた国内対策の一環である、退蔵されている水銀血圧計等の回収促進について、東京都医師会より、平成24年度から始めている自主回収事業の取組について、日医より、水銀血圧計・水銀体温計に関するアンケート調査結果の説明及び取組方針について説明があり、最後に、「医療機関に退蔵されている水銀血圧計等回収マニュアル(案)」について説明があり、質疑応答を行ったと報告された。また、県医師会でも廃棄手続きを実施せざるを得ないであろうと説明された。水野議長より、水銀血圧計等の今後の使用について質問され、山本副会長より、使用については問題ないが、将来的には水銀処理業者がなくなる可能性もあり、各自で処分する際はコストも高く、不要の品については、医師会で廃棄手続きする際にまとめて処分すると良いと説明された。

18. 第16回愛知県医師会警察部会と愛知県警察歯科医会との協議会〔10/31(土)〕について

(愛知県警察歯科医会主催：4階理事会議室)

細川理事より、年1回開催される協議会で、平成26年度における活動報告等について、情報・意見交換を行ったと報告された。

19. 一般社団法人愛知県労災指定医協会 平成27年度第7回理事会〔11/5(木)〕について

(一般社団法人愛知県労災指定医協会主催：801～803会議室)

森理事より、労働保険事務組合の設立については、平成28年度内に認可申請する方向で動いていると説明された。また、27年度収支予算中間報告については、人件費削減により黒字が見込まれていると報告された。

20. 愛知県介護支援専門員支援会議〔10/28(水)〕について

(愛知県主催：愛知県三の丸庁舎)

野田理事より、介護支援専門員研修カリキュラム改正に係る進捗状況報告が愛知県社会福祉協議会(ケアマネ実務研修、再・更新(未)研修、更新研修課程ⅠⅡ)と愛知県シルバーサービス振興会(主任ケアマネ研修、更新研修)から報告があったと説明され、研修時間が大幅に増加することによって講師の確保が問題で基本的には医師又は看護師が講師を担当する部分について現在のところ目処は立っていないが、看護協会を中心として行っていただくよう依頼していると報告された。

【その他事項について】

21. 公益法人立ち入り検査〔11/6(金)〕について

山本副会長より、厳正なる検査の結果、指摘事項なしとの講評であったと報告された。

22. 愛知県救急医療情報センターが行う、医療事故調査制度に係る業務の取扱いについて

城(義)理事より、10月より開始された「医療事故調査制度」について、相談受付窓口業務を救急医療情報センターで行うため、委託契約書の規定に基づき愛知県と協議を行ったと報告された。原則、委託外業務に携わるべきではないが、内容が単に相談の取り次ぎにとどまるものであり、業務量も僅かであることから、救急医療情報センター業務に支障が出るとまでは考えにくいため、認めるとの回答を得た。また、今後支障を来すことがあれば、再度協議することとなると説明された。

23. その他

・「愛知県国民医療推進協議会」地域集会について

市川理事より、当日の協議会の流れ、来賓、配席等を説明された。

・他職種連携協議会について

樋口理事より、平成27年度で終了する事業のため、現委員の処遇等、今後の方針について問題提起された。

・愛知県医師会館の電気錠の取り付け及び業務時間外の施錠について

市川理事より、11月25日(水)西側通用口の電気錠取り付け工事を行う。職員は26日(木)より利用することとなるが、11月19日(木)県下医師会長等協議会で、12月1日(火)より原則午後6時以降、会館の全ての出入り口が施錠される旨を周知すると説明された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成27年11月12日